

行政報告

行政報告(町長)

■総合政策課関連

人口ビジョン及び総合戦略の年内の策定作業を進めており、今年度の交付金を活用し行っている事業の進捗状況。

①プレミアム商品券発行事業は、7月50000セットと12月90000セットを販売予定とし、7月分は、広報7月号に購入希望申込書を折り込んだ。販売額は50000円単位で、1世帯上限5万円となっている。

②子育て世帯商品券事業は、7月1日から申請を受け付け、8月より順次支給決定(8月10日現在で約500世帯)している。使用期間は、平成28年1月末まで。

③国内外観光プロモーション事業は、国内誘客プロモーション業務委託として590万8000円、海外誘客プロモーション業務委託として310万円、ともに7月9日に俱知安観光協会と委託契約を締結した。

④定住化促進のための住宅リフォーム支援事業は5月1日から募集を開始し、雪対策に特化した住宅リフォーム工事を町内事業者者に依頼した場合に助成する。

⑤町民の英語力向上事業は、小中高の連携事業としてイングリッシュサマードイキャンを8月5日に開催し、今後は、10月下旬と1月下旬ごろに2回開催を予定している。地方版人口ビジョン、総合戦略策定の進捗状況は、地方版まち・ひと・しごと創生「人口ビジョン」及び「総合戦略」の年度内の策定に向けて業務を進めている。



イングリッシュサマードイキャン

(仮称)羊蹄山麓・西胆振地域広域連携会議の発足について

8月26日、喜茂別町長の呼びかけにより、(仮称)羊蹄山麓・西胆振地域広域連携会議が発足した。

外国人観光客の増加や大災害の発生、情報通信網の拡大など地域を取り巻く社会環境が変化し続ける中、高速道路の整備、北海道新幹線の札幌延伸を間近に控え、道内の他の観光地におくれをとらないことや災害への対応などを目的にしたものである。

■総務課関連

ふるさと納税

本町の強みの一つであるスキーシーズン開幕時期及び例年、寄附件数の増加する12月からの本格稼働に向けて諸準備を進めていく。

旧東陵中学校

本格的な跡利用としての道筋が決まるまで、暫

定的ではあるが、体育館旧校舎1階及び2階の一部を町民の皆さんに幅広く開放を行い、活用していきたい。

マイナンバー制度の周知広報

ホームページへの掲載、8月号町広報への制度説明の小冊子を折り込むなど、新たな制度の周知について積極的に進めている。今後も各種の手法を通じ、広く制度を理解してもらいたため、周知・広報活動に取り組んでいく。

■農林課関連

町内の主要作物の作況

本年は、春の作付時期には、好天に恵まれ、降水量も平年より少なく、農作業が順調に進み、作物の成育も平年並みだったが6月中旬から下旬にかけて低温が続く、作物の成育も全般的におくれた。7月に入り、気温の回復と適度に雨が降ったこともあり、8月1日現在の生育状況は全般的に平

年並みからややよい状況となった。

バレイシヨは、形もよく、収量的にはよいと聞いている。また、秋まき小麦の収穫作業は終了し過去最高の収穫量だったと聞いている。

■建設課関連

建設工事等の執行状況

平成27年度俱知安町発注工事情報(上半期、工事金額130万円以上)で公表している工事の発注状況は、工事件数は62件中42件で67.7%、金額(予算額)ベースでは94.2%の執行率となっている。

建設課所管の8月1日現在の工事発注状況は22件中発注済みが15件で、8月末までに発注予定のもの1件、9月中に発注する予定が2件、発注済み道路改良工事に伴う附帯工事が2件と比羅夫橋橋梁修繕に係るもの2件を11月に発注する予定で準備している。

教育行政報告
(教育長)

■学校教育関連

小中学生、全道大会出場

小学生では、全道大会出場標準記録を突破した各校の児童17名とリレー2チームが7月に千歳市で開催の第33回北海道陸上競技大会に出場。東小5年女子の3名がソフトボール投げで入賞、ほか3個人1団体が入賞した。中学生では、4競技で



全道大会に出場した女子ソフトボール部

全道大会出場を果たした。

ソフトボールは、7月に石狩市の大会に出場し1回戦は接戦を制し勝利2回戦で今大会の優勝校に惜しくも敗退した。

サッカーは、7月に帯広市で開催され、1回戦で大会ベスト4のチームに延長戦の末敗退した。

水泳は江別市、陸上は室蘭市の大会にそれぞれ男女各1名が出場した。

男子バレーボールは余市東中との合同チームに俱中から2名が全道大会に初出場したが、予選ブロックで敗退した。

小中高英語連携事業

6・7月に2校の高校

教員が各小学校に乗り入れ授業を行った。8月には地方創生先行型交付金を活用した事業として、小中学生20名が参加してイングリッシュ・サマーキャンプを実施した。今後、秋のハロウィーン・キャンプ、冬のウィンター・キャンプを予定している。

通学路安全推進会議設置

7月に俱知安町通学路安全推進会議を開催し、会議設置の目的を含めた要綱の制定、通学路の安全確保に関する取り組み方針等の了承を得た。

今後、各学校から危険性が高いと考えられる通学路箇所の報告を受けた後、関係機関による合同点検を実施し、対策に係る改善方法や充実に向けた協議などを進め、児童生徒が安全に通学できるよう通学路の安全確保に努めて行きたい。

平成28年度小中学校用教科用図書を採択

第4地区採択協議会で

は、町村を代表する委員(教育長)で構成される採択協議会と、管内町村の教職員や学識経験者などで構成される調査委員会を組織し、文科省の検定を経た全ての教科書に関する調査研究とその報告に関する審議を経て、8月3日に第4地区の採択教科書を決定した。

その後、8月の教育委員会会議で俱知安町の平成28年度小中学校使用教科書を決定した。

学校給食センター建設

7月27日に工事関係者による安全祈願祭が行われ、建設工事に着手した。工事期間は冬季の工事休止期間を含め平成28年10月末までの2カ年。

今後、センター建設とあわせ効率的な運営方法などの検討協議を進めるとともに、児童生徒に安心・安全な給食を提供できるように努めて行きたい。

■社会教育関連

公民館

地方創生先行型交付金を活用した「ことばでつながる」まちづくり事業で4コースの町民向け英語研修を開催している。

一般町民向け中間コースは、7月から10月まで12回開催する。既に16名の参加で4回を終了した。夏休みに中高生を対象にした研修も全5回開催し、7名が参加した。

また、9月から一般町民向け夜間コースを全12回、11月には飲食店従業員向け研修を昼間に全4回の開催を予定している。

小川原脩記念美術館

主な取り組みは、「しりべしミュージアムロード展」でのオープニングセレモニー、「土曜サロン」の実施、ギターデュオによるコンサート、札幌の講師の地域文化講座の開催など美術との触れ合いの場を提供している。

版画展開催期間中に、

版画家による技法体験ワークショップを2回開催したほか、麓彩会会員の画家による造形活動ワークショップも2回開催するなど、参加者参加児童が美術との触れ合いを楽しんだ。

俱知安中学校の1年生5クラス153名を対象とした学芸員による授業支援(出前授業1回、美術見学なども実施した。

俱知安風土館

常設展示の生活文化展示「あそぶ」を廃止、「つくる」の展示として全面改装。1階ロビーに展示していた「指物道具」と収蔵庫に保存していた「鍛冶道具」を移動し、日英解説文を付けて展示した。

企画展示では、「太鼓のロクさんのミニユメ」とパネル等の展示を8月末まで実施した。

今年度の重点的取り組み「俱知安アーカイブの古写真のデジタル化」の作業は順調に進み、今後は写真のデータ収集を兼ねた一般公開を検討している。